



ヨコハマトリエンナーレ 2014 新着情報

“ヨコトリ”で芸術の秋を満喫しよう！ 9月の期間限定情報

◆釜ヶ崎芸術大学による公開講座 釜ヶ崎芸術大学 in ヨコトリ

9月20日(土)・21日(日)／横浜美術館 円形フォーラム他

◆国際シンポジウム国際展で考える「現代アートと世界／地域との関係」

9月14日(日)／横浜美術館 レクチャーホール

◆ヨコハマトリエンナーレ 2014 公式カタログ 予約受付開始

9月5日(金)～／横浜美術館ミュージアムショップ&新港ピアオフィシャルショップ

9月に入り横浜のまちは秋の訪れとともに本格的なアートの季節を迎えます。

そこで、開幕して1か月、ますます盛り上がるヨコハマトリエンナーレ 2014 会場で9月中に開催する主なプログラム、イベントをご紹介します。

参加者募集

釜ヶ崎芸術大学による公開講座 釜ヶ崎芸術大学 in ヨコトリ

本展横浜美術館会場の一角で、ひととき異彩を放っている「釜ヶ崎芸術大学」。大阪の釜ヶ崎地区を拠点に、すべての人に開かれ生きるための学び合いの場を展開する釜芸の講座を2日間にわたり開講します。

＜講座①「芸術と生きる」＞

釜芸の人気講座でもある西川勝氏(臨床哲学者・看護師)による哲学講座を体験いただけます。現役釜芸大生のおっちゃんたちによる狂言の公演も、特別に上演します。

日 時：9月20日(土)13:30-17:00(13:00 開場)
会 場：横浜美術館 円形フォーラム
定 員：100名(参加費無料)

＜講座②「ことばと生きる」対象：小学校高学年＞

釜芸を主宰する詩人の上田假奈代さんが小学校高学年の子もたちとつくる「詩のワークショップ」を行います。インタビュー詩、似顔絵詩、回し書き詩など、上田さんが行うユニークな詩作を紹介しながら、2人1組になって、お互いに話しあいながら詩を作ります。

日 時：9月21日(日)10:30-14:30(10:00 開場)
会 場：横浜美術館・円形フォーラム
対象・定員：小学校高学年・15名(参加費無料) *事前申込制・先着順

＜TAKIDASHI カフェ＞

講座開催期間中は、釜ヶ崎の現役炊出番長が炊出しを実践し、その意味について語る「TAKIDASHI カフェ」を同時開催します。

日 時：9月20日(土)・21日(日) 12:00-13:30
会 場：グランモール公園(横浜美術館前)
助 成：おおさか創造千鳥財団



釜ヶ崎での狂言の授業の様子



詩人上田假奈代氏によるワークショップの様子

釜ヶ崎芸術大学

2012年、大阪市で開校。日雇い労働者の町としての歴史をもち、今も多く元日雇いの高齢者が暮らす大阪市西成区の釜ヶ崎と呼ばれる地域を拠点に、あらゆる人を対象として哲学、書道、詩、芸術、天文学等の多彩なテーマによる講義やワークショップを行っている。

上田假奈代(うえだかなよ)

3歳より詩作、17歳から朗読を始める。全国で障がいをもつ人や子ども、高齢者など幅広く詩のワークショップを手がける。NPO 法人こえとことばとこころの部屋(コロールム)代表。

**参加者募集****国際シンポジウム国際展で考える「現代アートと世界／地域との関係」**

横浜トリエンナーレでは、国際展の意義やミッションおよびアートの社会的な存在意義をより多角的な視点で問い直してきました。当シンポジウムでは、世界各地の「地域」のアートシーンを形成する国際展の事例を参照しながら、横浜トリエンナーレが「東アジア」という地域のなかで開催されることの意味と今後向かうべき方向を検証します。

日時：2014年9月14日(日)14:00～17:00(13:30 開場)
会場：横浜美術館 レクチャーホール

内容：第1部：プレゼンテーション「国際展の多様な形、発信と受容の関係」**【プレゼンター】****①マルガリータ・ゴンザレス・ロレント**

(ヴァイフレド・ラム現代美術研究所キュレトリアル部門副所長、ハバナ・ビエンナーレ 2006/2009/2012 キュレーター)

②リヤス・コム (コーチ＝ムジリス・ビエンナーレ財団共同創設者、コーチ＝ムジリス・ビエンナーレ 2012 プログラム・ディレクター兼共同キュレーター)**③黒田雷児 (福岡アジア美術館事業管理部長・学芸課長、FT5 芸術監督)****第2部：パネルディスカッション「現代アートと世界／地域との関係」****【登壇者】**

第1部プレゼンターおよび、

・池田 修 (BankART1929 代表)

・山野真悟 (NPO 法人黄金町エリアマネジメントセンター事務局長、黄金町バザールディレクター)

・逢坂恵理子 (横浜美術館館長、横浜トリエンナーレ組織委員会委員長)

募集人数 200名(言語:和英同時通訳付) *事前申込制・先着順
参加費：無料

◆ヨコハマトリエンナーレ 2014 公式カタログ 9月5日(金)より予約受付開始!

展示風景を撮り下ろしたカラー図版とアーティストック・ディレクターの森村泰昌の書き下ろした解説で構成された約 250 頁の展覧会ガイドと、豊富な作品資料を掲載した公式カタログ。この1冊でヨコトリの「忘却めぐりの旅」を再現しています。9月5日(金)より横浜美術館と新港ピアの公式ショップで予約受付を開始します。

書名：ヨコハマトリエンナーレ 2014

「華氏 451 の芸術：世界の中心には忘却の海がある」

監修・編集：横浜トリエンナーレ組織委員会

編集：隈千夏、阿部謙一

デザイン：有山達也＋中島美佳(アリヤマデザインストア)

写真：山本真人

発行：株式会社平凡社

体裁・ページ数：B5 判変型・368 ページ

価格：2,800 円(税別)

※なお、同カタログは全国書店にて 10 月中旬より取扱い予定です。



詳細情報、事前お申し込みは公式サイトをご覧ください

URL: <http://www.yokohamatriennale.jp/>

ヨコハマトリエンナーレ 2014 開催概要

正 式 名 称	ヨコハマトリエンナーレ 2014 「華氏 451 の芸術: 世界の中心には忘却の海がある」 Yokohama Triennale 2014 “ART Fahrenheit 451: Sailing into the sea of oblivion”
会 期	2014 年 8 月 1 日(金)～11 月 3 日(月・祝) 開場日数: 89 日間 休場日: 第 1・3 木曜日(9/4、9/18、10/2、10/16)
主 会 場	横浜美術館 横浜市西区みなとみらい 3-4-1 新港ピア(新港ふ頭展示施設) 横浜市中区新港 2-5
開 場 時 間	10:00 ～ 18:00[月 1 回土曜日(9/13、10/11、11/1)は 20:00 まで開場] ※入場は閉場の 30 分前まで
主 催	横浜市、(公財)横浜市芸術文化振興財団、NHK、朝日新聞社、 横浜トリエンナーレ組織委員会
お 問 い 合 せ 先	横浜トリエンナーレ組織委員会 TEL 045-663-7232

※事業の総称および組織名は「横浜トリエンナーレ」(横浜=漢字表記)、第 5 回展の事業名は「ヨコハマトリエンナーレ 2014」(ヨコハマ=カタカナ表記)となります。

本リリースおよびご掲載に関するお問合せ

ヨコハマトリエンナーレ 2014 広報事務局(株式会社ユース・プランニング センター) 担当: 浅野・池袋・岩川・鈴木
〒150-8551 東京都渋谷区渋谷 1-3-9 東海堂渋谷ビル 3F
TEL: 03-3486-0575 FAX: 03-3499-0958 E-mail: yt2014@ypcpr.com